

6月議会川口の一般質問より 外国籍市民への対応について



学校

本市でも年々増加傾向の、外国籍児童生徒の対応について、日本語指導が必要な児童生徒への指導の充実、就学状況が確認できない児童への対応、等について問いました。(Qは川口、Aは学校教育部及び教育長)

Q、日本語指導の必要がある児童生徒数と必要とされている母国語は何か。(5月1日現在の数)

A、小学校50名、中学校71名で、必要な母国語は、中国語37%、タガログ語25%、ネパール語21%。

Q、言葉や文化の違いから、学習や交友関係に困難を抱えがちという現状にあるが、それらの基本である日本語指導の更なる充実についてどう考えているか。

A、NPO法人等支援団体との連携、ICT機器を活用した翻訳システムや音声読み上げなどの支援について研究し、運用できるように努める。

Q、不就学児ゼロを目指し、就学状況を確認できていない児童生徒の状況を把握すべき。教育長の考えは。

A、教育を受けていない児童生徒が存在する可能性も考えられる。教育委員会と関係部署が連携し、教育を受ける機会を得られるよう取り組んでいくことが大切と考えている。

防災

文化も防災知識も異なる外国籍市民の増加を、避難所運営においても考慮に入れる必要があります。コロナ禍でもあり、災害弱者救済の観点からも市の対応を問いました。(Qは川口、Aは防災危機管理室)

Q、外国籍市民への防災訓練の参加や防災知識の普及啓発が必要と考えるが市の認識は。

A、安全確保、パニックの防止の観点からも必要だと考えている。今後は関係課と連携し検討したい。

Q、外国籍市民のメインの情報入手手段はスマートフォンである。災害時の情報発信手段として、SNSや防災アプリの活用が有効と考えるか？

A、有効であると考えている。防災アプリについて、他市の事例を参考に、関係課と連携し、調査研究していきたい。

Q、外国籍市民が避難所で混乱しないようにするため、ルールの説明、やさしい日本語やピクトグラム表示の活用も効果的と考えるか？

A、やさしい日本語の活用等、避難所ルールを理解していただくための取組を関係課と連携して検討したい。☞ **早速、ピクトグラム表示が実現!**

会派の会議はリモート、市政報告会もオンライン

<https://www.youtube.com/watch?v=MWNjpcnNFOs&feature=youtu.be>

会派の会議はzoomを多用し、リモート会議としました。

また、個々の市政報告もままならない中で、会派として初めての市政報告会を、オンラインで試行してみました。

ご意見、ご感想など頂ければ幸いです。



厚生労働省

新型コロナウイルス
接触確認アプリ

COCOA

ダウンロードはこちら↓

Google Play

App Store



* 詳細は厚生労働省HPで検索

掲示板

～ 「特別定額給付金」申請の受付は8月28日(金)まで ～

8月28日(金曜) [当日消印有効] で申請の受付を締め切ります。

申請書がお手元にない場合は、すぐに川越市コールセンターまでご連絡ください。

電話：0120-60-3880 (応対時間：午前8時30分から午後6時、土曜・日曜・祝日除く)

* 申請内容に不備や疑義がある場合、振込日が大きく遅れる原因となりますのでご注意ください。

～ 川口けいすけ議会報告会は見送ります ～

・今後の報告会開催は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら検討して参ります。



この紙面の配布にご協力いただける方は、下記までご連絡いただければ幸いです(範囲・枚数は出来る限りで結構です)。
TEL 080-3025-5776 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

